

開催日時	平成 27 年 10 月 29 日（木） 18：00～19：30
開催場所	音別町コミュニティセンター
参加人数	25 人
出席議員	畑中優周 副議長 河合初恵 議員（議会広報特別委員：司会） 松尾和仁 議員（議会運営副委員長、総務文教常任委員、都心部市街地整備特別委員） 松永征明 議員（経済建設常任委員） 大澤恵介 議員（民生福祉常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）
質疑応答の内容	<p>問：音別は農林産業がメインの町で、TPPのため先行きも不透明だ。また小規模の事業者に対し、金銭面だけでなく、仕組みや仕掛けを作って安心して暮らしていけるよう努めてほしい。</p> <p>松永 大変難しい質問を頂いた。昨日、TPPについて釧路で説明会があったが、情報がすべて開示されておらず、釧路市全体にどのように影響が出るのかわからないので、早く情報を手に入れ、しっかり検討しなくてはならないと思っている。</p> <p>問：音別地区の人口は 27 年 9 月で 2,012 人。釧路市の人口のうち、音別地区の人口は 1.1%ぐらいだ。飛び地でもあり、市の中での立ち位置に不安を持っている。皆さんは音別にどういう思いを持っているか。</p> <p>畑中：大塚の工場、カラマツ、エミューのオイル、フキ紙など、釧路地区にない産業を武器にできるものと思っている。地元の産品についての相談を受け、エミューの販売方法などについて意見交換をしたこともある。フキ紙の卒業証書を市内の各学校で使ってみてはとも思っており、そういう地域資源を大事に育てていきたいと思っている。</p> <p>河合：私は足寄出身なので、林業、農業など身近に感じている。町内会には「こころみ」での行事を呼びかけている。</p> <p>松永：私の出身の阿寒は、農業、酪農、畑作、林業があって、音</p>

別より人口が若干多い程度だ。地元の食材などあるものを活用し、どう付加価値を付けるか考えている。人口が少ないことを悲観しないで皆で頑張りましょう。

大澤：阿寒地区であれ、音別地区であれ特別な地区であるとは思っていない。釧路市としてどう発展していくかが大切だと思う。

声が伝わるのは人の数ではなく、声の大きさに、地域の人が一丸となって声を出すことが大切だ。

松尾：合併して10年のという節目で、できたこと・できなかったことがあり、引き続き注視していきたい。

高速道路ができることで、音別も国道の交通量が減ったと思うが、それに向けた対策など事業の展開を点検していきたいと思う。

意見：ありがとうございます。しっかり見ていてもらっていると感じ少し勇気がでてきた。

松永(問)：白糠IC開通後、大きな支障、損失は身近に感じたか。

参加者A：ゴールデンウィークのときに例年なら信号での渋滞があるが、今年はなかった。ロードサイドの食堂やコンビニ、自販機などは大変だろうと思う。地域住民が恩恵を受けることは難しい。

B：ロードサイドで商売をしている人がいないので、あまり影響はないと思った。

C：釧路まで高速道路がつながると、東釧路まで一気に近くなる。また災害の時、津波の時などに高速道路を使う術ができた。

D：今年のお盆、コイトイ館から白糠の郵便局まで30分余計にかかるぐらい渋滞していた。

E：高速道路が開通して個人的にはプラスになっている。札幌が近くなったが音別が通過点となってしまったことは良くない。

F：個人で不便に感じたことはない。GWや長期休暇の際に車の量が減ったことは感じる。以前はコンビニに地元の間人が車を止められないことがあったが、そういうことがなくなった。

	<p>問：高速道路は、釧路まではどうして無料なのか。</p> <p>畑中：正確には高速道路でなく、高規格道路である。所管もネクスコではなく、北海道開発局である。</p> <p>大澤：建設主体も異なり、新直轄方式と呼ばれるところは北海道開発局が主体である。</p> <hr/> <p>問：「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてだが、自分も北のビーナスの運営や商工会青年会などに関わって、地域特性をいかに生かすか議論しており、参考としたいので具体的な議論の内容を聞きたい。</p> <p>松尾 現在、骨子を検討しているところで、具体の議論はこれからになる。</p> <hr/> <p>問：釧路と音別の上に危険な空き家が多くある。パシクル周辺、音別のパチンコ店などが放置されている。空き家対策で代執行が可能になり、どこかの町では代執行で解体したと聞いた。</p> <p>松永：空き家対策についてだが、危険なところとして議会に報告されたのは9件である。そのうち2件は持ち主が不明である。そういう住宅を壊せることになったので、市ではそのためのスケジュールを作っており、12月にはできると思う。これまでは指導しかできなかったが、具体的な対応ができるようになって進めているので、もう少し待ってほしい。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：現在音別出身の議員がいなく、音別の声は市長に、議会に届いているか不安である。このような機会は有意義で、できれば年に何回か開いてもらいたい。また、議員が個人的に懇談会を開くのもいいのだろうし、その方が生の意見も出る。大勢いると声を出しにくいこともあり、飛び地である音別の活性化のために力を貸してほしい。ミニ懇談会などさらに音別で開けるのか、また開く気があるか。</p> <p>畑中：今日は議会広報特別委員会の主催でこうしたことができたが、ミニ懇談会については委員会や個人、会派などでできるこ</p>

ともあるので、各会派に要望があったことを伝えたい。

また、議長も北のビーナスのイベントに出席して同様の意見を聞いているとのことであり、我々も積極的にイベントに参加して意見交換の機会を増やしたい。

松尾：昨年、音別の町営球場の活用について要望を受け、今年度、全道の中学校の野球大会を誘致した。こうした取り組みを引き続き行っていきたい。

問：音別にだんだん人がいなくなり、こうした中、音別地区からの議員が一人もいないのは残念だ。音別に協力をお願いしたい。

畑中 ご意見を受け止めたい。音別のフキ紙を音別小中の卒業式で使ったが、この取り組みを市内の全学校に広げたい。また、「こころみ」についても、合宿などでの活用が促進されるようにしたい。音別についてもしっかり見ている。

問：前回の報告会の参加が少なかったとのことだが、釧路地区での報告会も少ないと聞いている。日程、時期、時間の変更について議論したのか。

河合：アンケート結果をもとに、どのようにすればよいかと検討している。今日はたくさん集ってもらったので嬉しい。

畑中：搾乳時間の関係等から、出席しやすい時間を設定することが大切だ。我々もインターネットやフェイスブックなどを活用しているが、そうした情報を手にできない人もいるので、議会だよりの充実のほか、和気あいあいと意見交換できる方法も検討していきたい。

要望：勤務先でキクイモを作っているが、本業は建設業でキクイモ生産は生業ではない。公共工事の発注量が少ない現状で、一年を通して工事を受注できないと本業の方が成り立たない。そうするとキクイモの生産に取り組めないで、本業が成り立つようにしてほしい。

市への 意見・要望	<p>問：小さい子供を2人持っており、風邪をひいたときに音別診療所へ連れて行ったが、「赤ちゃんは困る」と言われ、仕方なく白糠や釧路の病院に連れて行っている。医者が診察してくれないと薬ももらえないので、オールラウンドに対応できる医者をお願いしてほしい。</p> <p>畑中：市側に申し伝える。</p>
--------------	---